

Twitter等のSNS利用について（注意喚起）

総合文化研究科長・教養学部長
石井 洋二郎

昨今、本学部の学生がTwitterへの安易な書き込みによって他者や社会に多大な迷惑をかけたたり、試験の公正な実施を疑わせたりするなど、内容に問題のある書き込みを行ったことで、社会的な批判を受け、発信者の学生の責任が追及されるという事態が相次いで生じています。

Twitterの場合、不適切な書き込みの多くは、「フォロワーや友人しか読んでいない」という書き手の思い込みから生まれているように見受けられます。しかし、そうした書き込みは、実際には瞬時のうちに見知らぬ大勢の人びとの目に触れ、自分ではすぐに削除したつもりでも、その発言が何らかの形で残り、遡って検索されることがあります。たとえ自分のアカウントへのアクセスを制限している場合であっても、発言の内容がその制限を越えて拡散されることは止められません。そして、発信者を特定することは決して難しくはありません。

TwitterをはじめとするSNS（Social Networking Service）における書き込みに際しては、このように全世界の不特定多数に読まれる可能性があることを常に十分自覚するとともに、特に次の点に留意した責任ある発言を行なうよう注意喚起いたします。

- ・他人を誹謗中傷・差別しない。
- ・社会的なモラルに反する内容を書かない。
- ・アルバイトなどの職務上で知り得た情報を公開しない。
- ・他人の個人情報を許可なく掲載しない。